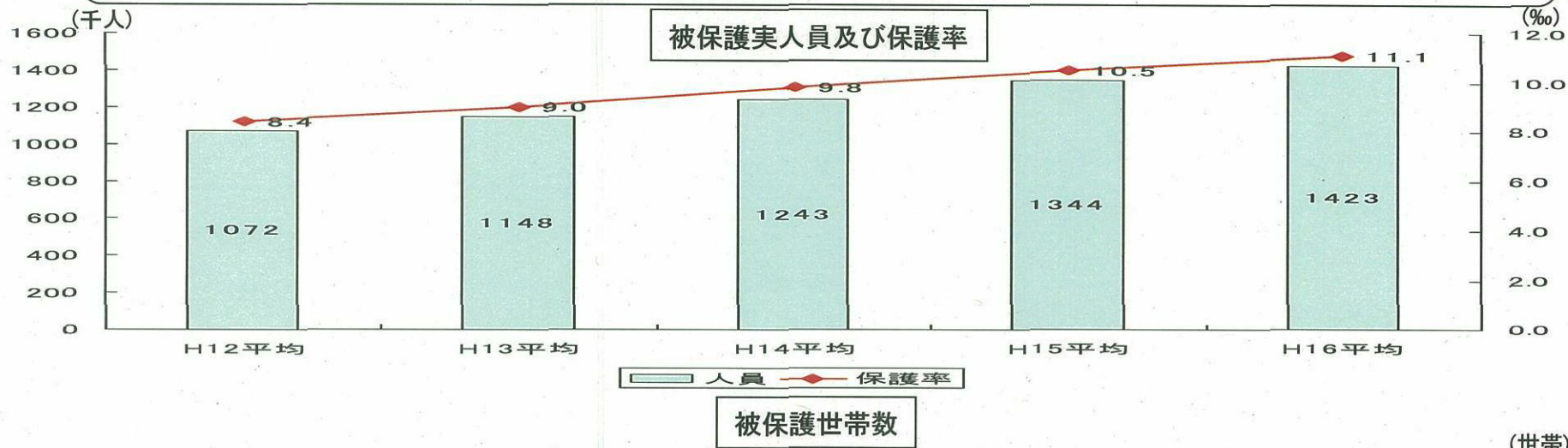


生活保護受給者数及び被保護世帯数の動向

被保護世帯実人員及び保護率はともに上昇を続けている。被保護世帯数は、全ての区分で増加しているが、「その他の世帯」の伸び率が大きい。



	被保護世帯	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯
平成12年度平均	750,182	341,196	63,126	76,484	214,136	55,240
平成13年度平均	803,993	370,049	68,460	81,519	222,035	61,930
平成14年度平均	869,637	402,835	75,097	87,339	231,963	72,404
平成15年度平均	939,733	435,804	82,216	95,283	241,489	84,941
平成16年度平均	997,143	465,665	87,478	102,421	247,431	94,148
伸び率 (H16年度/H12年度)	132.92%	136.48%	138.58%	133.91%	115.55%	170.43%

資料出所:厚生労働省「生活保護速報」

注 「被保護世帯数」:「被保護世帯全数」から「停止中の世帯」を除いたもの

「高齢者世帯」:男女とも65歳以上の者のみで構成されている世帯か、これらに18歳未満の者が加わった世帯

「母子世帯」:死別、離別、生死不明及び未婚等により、現に配偶者がいない65歳未満の女子と18歳未満のその子(養子を含む)のみで構成されている世帯

「傷病者世帯」:世帯主が入院(介護老人保健施設入所を含む)しているか、在宅患者加算を受けている世帯、若しくは傷病のため働けない者である世帯

「障害者世帯」:世帯主が障害者加算を受けているか、障害・知的障害等の心身上の障害のため働けない者である世帯

「その他の世帯」:上記以外の世帯